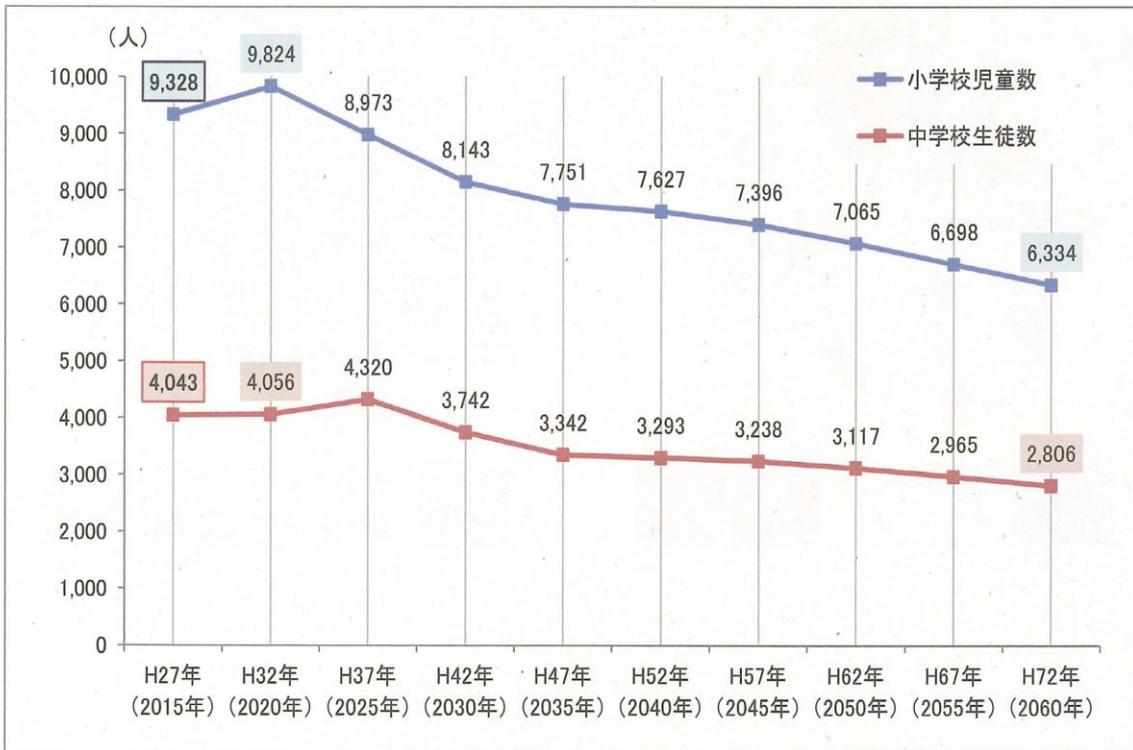


(4) 教育（学区、学校数等）への影響

平成 27 (2015) 年時点人口による将来人口推計（独自推計）を基に、小学校の児童数及び中学校の生徒数を試算しています。

平成 32 (2020) 年は小学校児童数、中学校生徒数ともに平成 27 (2015) 年より増加する見込みですが、このまま少子化が進むと、平成 72 (2060) 年には小学校児童数は平成 27 (2015) 年時点の 67.3%、中学校生徒数は平成 27 (2015) 年時点の 69.4%程度に減少すると見込まれており、教育環境も変化していくと予想されます。

図表 3-2-8 小学校児童数及び中学校生徒数の将来推計



(単位:人)

	H27年 (2015年)	H32年 (2020年)	H37年 (2025年)	H42年 (2030年)	H47年 (2035年)	H52年 (2040年)	H57年 (2045年)	H62年 (2050年)	H67年 (2055年)	H72年 (2060年)
小学校児童数	9,328	9,824	8,973	8,143	7,751	7,627	7,396	7,065	6,698	6,334
中学校生徒数	4,043	4,056	4,320	3,742	3,342	3,293	3,238	3,117	2,965	2,806

※ 町丁目別推計人口をもとに学校区域別に合計し、平成 27 (2015) 年 5 月 1 日時点の児童・生徒数で補正

※ 公立の小中学校分のみ